

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 002	提案機関名 全農神奈川県本部
要望問題名	「極早生玉ねぎの3月収穫・出荷に向けた栽培体系の確立」について
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】	<p>令和元年度から小田原下中地区生産者圃場において、農家手取りの向上を目指して、極早生玉ねぎの3月収穫・出荷に向けた栽培に取り組んでいる。令和元年度の結果は、マルチをこれまでの黒マルチからグリーンマルチ等に変更し地温を上げた栽培に取り組んだものの、べと病の発生等の影響もあり4月上旬収穫・4月中旬出荷となった。</p> <p>生産者圃場での試験では、例年の収量に影響を与えないよう作付面積を減らすことができないことや、農作業の手間を今以上かけることができないことから、目標に向けた数種類の栽培体系を試験することができない。</p> <p>よって、農業技術センター内の試験区において、播種・施肥量・施肥時期・栽培条数の違い、トンネル栽培など幾つかの試験を行っていただき、目標に向けた栽培体系の確立を依頼したい。</p>
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II-1 (1)優良種苗の特性検定試験～タマネギの早春どりのための作型開発		
対応の内容等	<p>県内有数のタマネギ産地である小田原市下中地区において、高値が期待できる3月収穫・出荷によって農家の所得向上を図る意義は大きいと考えております。3月どりに適した品種及び栽培方法については、当所において、平成17から20年度に栽培試験を行い、成果情報として発表しております。それによれば、極早生品種‘貴錦’、‘浜笑’を用い、12月にトンネル被覆することで2月下旬～3月にかけて、無被覆で3月中旬～4月中旬にかけて連続的に収穫できることを明らかにしております。詳細については、試験研究成績書をご覧ください。また、べと病の発生については、予防を主体とした適期防除が必要と考えられます。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			